

本年度調査検討委員会における検討に係る基礎資料とすることを目的として、レベル4自動運転の普及等に向けた取組を行っている事業者等に対してアンケート形式による書面ヒアリングを実施。

回答期間

令和5年7月24日（月）から8月25日（金）までの間（※現在、集計作業中）

ヒアリング対象

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ① 自動車メーカー（国内・国外） | （ex.本田技研工業株式会社、日野自動車株式会社） |
| ② 自動車部品メーカー（国内・国外） | （ex.ボッシュ株式会社、株式会社デンソー） |
| ③ 大学・研究機関 | （ex.東京大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所） |
| ④ 運送事業者 | （ex.佐川急便株式会社、ヤマト運輸株式会社） |
| ⑤ 実証実験の実施主体 | （ex.先進モビリティ株式会社、株式会社ティアフォー） |
| ⑥ その他（道路管理者等） | （ex.東日本高速道路株式会社、NTTドコモ株式会社） |

ヒアリング事項（概要）

- レベル4自動運転システムの技術開発の方向性に関する質問（主にヒアリング対象①～③）
- レベル4自動運転システムを活用したサービスの運用及び課題に関する質問（主にヒアリング対象④～⑥）
- レベル4自動運転システムを活用したサービスを行う予定がない者に対する質問（主にヒアリング対象④～⑥）

書面ヒアリング調査の項目

共通項目

(1) 技術開発の方向性について

- 市場への供給開始時期
- 市場化する際のサービス形態 … 物流サービス／自家用車／移動サービス／業務用自動車／その他
- 走行環境及び運行条件（ODD） … 地理的範囲、走行時間帯の条件、走行速度の条件、気象条件
- ODD外となる走行環境
- インフラによる支援

(2) サービスを行わない理由について

- 将来的なレベル4自動運転サービスへの参入可能性の有無
- サービスの実施を検討する上で、課題・障害となっている事項

個別項目

サービス形態（物流サービス／自家用車／移動サービス／業務用自動車／その他）ごとに、以下の項目を設定。

- 運用方法 … 走行環境・範囲、運送する人・物の量、特定自動運行の開始・終了方法 等
- 運行体制 … 特定自動運行主任者の配置場所、車内の乗務員の有無 等
- 交通事故時等の対応方法 … 現場への駆けつけの見込所要時間 等
- サービスの社会的価値等
- 運用上の課題や法的課題